

第1回笠間市児童館建設検討委員会会議録（要旨）

日 時	平成22年7月3日（土） 午前10時から午前12時02分
場 所	笠間市役所本所 2階中会議室
出席者	<p>【出席委員】</p> <p>高柿委員 酒井委員 佐藤委員 深澤委員 打越委員 須藤委員 千葉委員 原田委員 常井委員 藤枝委員</p> <p>【欠席委員】</p> <p>なし</p> <p>【事務局】</p> <p>櫻井子ども福祉課長 海老沢少子化対策室長 岡野主査</p>
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 市長あいさつ</p> <p>4. 委員長及び副委員長の選出</p> <p>3. 議 事</p> <p>（1）児童館の機能について</p> <p>（2）先進事例の紹介（土浦市ポプラ児童館）</p> <p>（3）その他</p> <p>4. 閉 会</p>
傍 聴	なし

会議内容

・委員長、副委員長の選出について。	
選出については委員の互選となるので、ご意見を伺う。	
委員	事務局案があれば伺いたい。
事務局	委員長に佐藤委員、副委員長に原田委員さんをお願いしたい。
事務局案了承	
委員長あいさつ後会議を進行する。	
議事1 児童館の機能について	
事務局	<p>今回整備する児童館としては、「小型児童館」とし、本委員会では厚生労働省「児童館の設置運営要綱」による内容の他に、必要な機能と面積の2点を検討していただきたいと説明。</p> <p>続いて、資料に基づいて説明。</p>
委員長	<p>児童館の基本的な機能として、「子どもに健全な遊びを提供する機能」、「子育て支援機能」、「地域での子育て環境づくり」との説明でした。</p> <p>児童支援の拠点としては「放課後児童クラブ」が各小学校にあり、地域での子育て環境では「子ども会活動」として地域の集会場でやっている、「子育て支援センター」・「児童相談」については、支援センターがあるのは「みつばち」が笠間地区「くりのこ」が岩間地区、こういう施設があるところは、非常に利用が多い、友部は専用施設が無いので少ない。</p>

	<p>家庭児童相談では相談室があるところは笠間・友部地区でこの利用状況が多い、窓口でやっているところは少ないというようなことが書いてあった。</p> <p>全体の意見交換は次の先進事例の紹介の説明を聞いてから設ける。</p> <p>今回はこの資料についての意見質問だけに限らしていただきたい。</p>
委員	今回の検討委員会は、何回開催するのか、何時ぐらいに出来れば良いのか。
委員長	<p>3回で済まそうとしている。</p> <p>第1回目は「機能」、こういう機能が欲しいというところをまとめて、その機能がまとまった段階で、機能に関する面積とかが出るので、次回で全部の面積をまとめて三回目に総括してまとめる。</p>
委員	児童館建設をするという方向で、機能とか面積とかということだけをこの委員会の中で協議という事で理解してよろしいのか。
事務局	<p>スケジュール的には今回1回目で、2回目については8月の前半で開催したい、3回目については9月中に持ちたいと事務局では考えている。</p> <p>「かしまっこ未来プラン」の方で重点施策として友部地区への児童館の整備として位置付けている。</p> <p>建設する計画を進めるために今回検討委員会で、そこにどういった機能を、基本的な機能は先程資料の中で三つほどご説明申し上げたが、その機能に加えてどういった機能を加えてゆくの、笠間市に相応しいのかという部分。</p> <p>機能に基づきましておおよその程度の規模が必要なのか、その2点について、委員会で検討していただきたい。</p>
委員	児童館は対象が18歳までですが資料の中では、中学校までの数字しか出ていない、中学卒、あるいは高校生をどのように考えればよいのか資料の中では見られない。
事務局	次回の会議には18歳まで含めた人口の推移を資料として用意します。
委員	小型であっても18歳まで対象とするということですね。
事務局	対象としているのは国の設置運営要綱で18歳までの年齢層、小型だから小中学生までという事ではありません。
委員長	対象とは、0歳から18歳ということであれば、厳格には父兄は入れないのか。
事務局	<p>子育て支援センターについては、基本的に対象が家庭で保育している親子、3歳未満の親子が対象で、他の親子と交流し、指導員と育児情報を交換したり相談したりという事で子育てを支援してゆく目的になっている。</p> <p>児童館のほうでも18歳まで対象年齢としており、もちろん乳幼児については自分で来られないので、保護者同伴で来ることが前提条件と考えている。</p>
委員	<p>児童館の一日としては、経験上、午後は、児童館に小学校からなり中学校から帰ってきてから自由に遊ぶ場、午前中は同じ空間の中で、親子とのサークル、それから、東京都の場合は高齢者の方たち、そういう方に開放する。</p> <p>自由遊びの場、そしてサークル方式での場、曜日によって上手に仕分けをして行く。</p> <p>午後になり児童が帰ってくる時点からは、大きなプレイルームはそちらが使用し、幼児さんたちは談話室とか図書室とかで過ごすことになる。</p>
委員長	この機能に関しては、高齢者も受け入れてやるとなると、もう少し違った機能が必要なのか、それとも機能の中で高齢者が入れるようにすればいいのか。

委員	その人達が、午前中談話室とか図書室を利用して、自主的に午後の児童達の指導をしたりボランティア活動をするなど、活用の仕方ひとつの考え方と思う。
委員	18歳まで対象ではなくて、高齢者も含めた多目的に、お年寄りとの交流も出来るような建物にしたらどうでしょうか。
委員	<p>私の経験で、埼玉県には沢山の児童館があり、そこに行ったときに、すごく感動した。どうして友部にはそういうものが無いのだと思っていたので今回はすごく嬉しい。</p> <p>ただ、18歳未満を対象と言っているが実際に高校生は児童館を利用することは無いと思う。</p> <p>ただ、埼玉県のは、土曜日曜日に大きなお姉さんお兄さんがいろんなイベントを考えて子どもたちと一緒に遊んでいる。</p> <p>それがあると児童館に来る関わりになってきているのだと思う。</p> <p>先程言われた高齢者のことでも、うちの子は、将棋とか祖父に教わりやるのですけれども、他の子は知らないの、他の子に将棋やろうといってもついてこれない。</p> <p>覚えればそういう時間が楽しくなって、もっともっと児童館に来たいとなり、すごくいい感じになってくるのではないかなと思う。</p>
事務局	<p>対象は児童で、委員さんの意見は運営方法で可能かと思われる。</p> <p>土浦でも、ボランティアの方が、色々なところで参加していただいている。</p> <p>子どもとの交流の中で、今言われた将棋のことも、高校生は高校生会の中で、ボランティアとして活動の中で児童館に来てくれると言う場所で子どもとの交流をして欲しいと言えば来てくれと思う。</p> <p>児童館としては、子どもの0歳から18歳までで、運営方針としてそういう事を取り入れてしなさいということで検討会をまとめていただければ、例えば高齢者と父親母親と子どもが三世代、例えば50組集まれるような場所が必要だと言うのであればそれなりの面積がということ進んで行くのだと思う。</p>
委員	児童館における、機能とは何でしょう。
委員長	どういうことを児童館として取り入れるかということであると思う。
委員	年齢差が非常に幅広く、児童といっても天井の高さとか、プレイルームなどは18歳までならば、吹き抜けの状態になるものが、必要になると思う。
委員	建物とか土地の場所は決まっていらないのか。友部だったらどの辺にとかは。
事務局	<p>まだ、検討も始まっていないという段階です。</p> <p>基本的には、民間の土地を買収してそこに建てるという事になると、買収に係る費用、交渉の時間などが係る、国県の補助も土地代は対象にはならない。</p> <p>出来れば市の持っている土地の中で、適した土地があればそこに建ててゆきたい。</p>
委員長	土浦の例、先進事例の紹介があるのでそれを聞いてから、質問していただくといろんな案が出てくると思う。
議事2 先進事例の紹介（土浦市ポプラ児童館）	
事務局	スライドと資料で説明
委員	ここの駐車場はどれくらい止められるのか。
事務局	駐車場として施設内は10台位。

委員	周りに子どもたちが駆け回れるような場所があればと思う、昔の子どもたちが神社の境内で「缶けり」やったりして遊んだように。
委員	樹木が無いですね。 木陰が無くて、例えば木登りなんかも、虫取りなんかも出来ない。
事務局	こちらは、横に公園があるので、そういった事は公園で。
委員	説明の中で、手洗い洗面所が工作室にあったが、他には屋外と各部屋にあるのか、それとも学校のように洗面所というかトイレとは別になっているのか。
事務局	屋内につきましては先程の工作室と、お手洗いのみです。
委員	運用状況の中で休館日が日曜日に祝祭日となっているが、親子のふれあい等を実施するうえでは、日曜日が一番集まりやすいと思う。 笠間市で実施するときにはそう言うことを考慮していただきたい。
事務局	土浦の場合は運営時間も5時までで、日曜日もお休みという事で、笠間市でやる場合は十分に検討課題だと思う。
委員	神栖のほうでも児童館が出来たというような新聞に載っていた。 一箇所だけではなく何箇所かを参考に取まとめて欲しい。
委員	児童館に来られた方、熱があるときとか、具合が悪いとき、静養室などで、子ども達が休める所とかが。
委員	多分事務室の一部にそういったものを備えている気がする。
委員	部屋の活用の仕方だと思う。 改めて作り上げるのではなく、活動する部屋の活用の仕方を、いかに有意義に使いこなしてゆくかというほうの考えの案かと思う。
委員長	休憩室とかの部屋を設けたら誰が面倒見るのとかになり、看護師を置くとかの話になる。 寝かせておいて救急車を頼むとかを考えたほうが良いのではないか。
事務局	他の例として事務局のほうで、例えば神栖には新しく出来た館があるようなので、そのようなところの写真を次回紹介したいと思う。
委員	埼玉県の子童館に行くと、未就学児が遊べるようなプレイルームがあり、おもちゃが棚にあって、写真が張ってあっていっぱいおもちゃがあり、また自分でお片付けが出来るような感じの部屋です。 子ども達と指導員の方で遊ぶことにより、親もゆっくりすることが出来る。 親もほっとしたい時がある、いつも子どもを追い掛け回し、「危ない、危ない」と神経を使うのはすごく大変です。 児童館ならちょっと離れたところから、安心して子どもたちを見ている事が出来る。 大きい子が入ってこないで、ぶつかったりする心配が無い、大きい子と一緒に遊ぶとぶつかり、ひっくり返ったりする。 小学生くらいになると、プレイルームで予約制でバドミントンや、卓球が出来たりする部屋があり、ロビーの辺りでは、オセロ・将棋・バランスゲームなども出来て小学生たちがすごく大きな声で盛り上がりをして遊んでいたりする。 せつかく造ったのに子ども達が飽きてしまったら来なくなってしまったら、もったいないので良く考えて、造って欲しい。
事務局	スペースもさることながら、その使い方も重要と思う。

委員	<p>経験上、職員が午前中用の遊具と午後用の遊具をすべて入れ替えるという事をしてきた。</p> <p>午後は幼児さんの事は父兄が見る、それからサークルで5～6人で来れば1人が当番のようにお子さんを見て、他のお母さんたちは話をしているというように利用されていた。</p> <p>小さな部屋ばかり数多く造ってしまっただけというよりは、何処からでも誰でもひと目にして目が行き届くような、施設のあり方のほうが、良いと思う。</p>
事務局	<p>幼児専用のプレイルームという部分は、「みつばち」「くりのこ」のような子育て支援センターの機能が、機能として近いと思う。</p>
委員	<p>子育て支援センターの機能を入れるとすればそういう部屋を造ることは可能ですね。</p>
事務局	<p>ちなみに岩間「くりのこ」の広さは大体80㎡くらい。</p> <p>笠間「みつばち」の方は140㎡くらいです。</p>
委員長	<p>いずれにしても、土浦市の人口はこの2倍くらい、土浦市より立派に造れよというのは無理かもしれないので、できれば、土浦並みという事で。</p> <p>利用者の数も全然違うだろう。</p>
委員	<p>利用数は、地理的なものもあるだろう。</p> <p>児童にしたなら一旦家に帰って、原則としてはランドセルを置いて、児童館へ行って来るよという報告なり、置手紙をしてるのが原則だと思う。</p>
委員長	<p>歩いてゆける範囲では、対象の人数が2～30人くらいしかいないでしょう。</p>
委員	<p>いくつの小学校を大体目的としているのか。</p> <p>友部小学校だけなのか友部二小そして宍戸など三小学校くらいの範囲の児童に来て貰いたいのか、友部と言っても広いと思う。</p>
委員長	<p>友部に建てるだけであって、笠間の人利用しても、かまわないと思う。</p>
事務局	<p>利用の仕方によって、例えば普段の日の放課後に学校が終わってから行くということになれば、そう遠いところから子どもさんは来られない、例えば土曜とかの何とか教室などのイベント・行事などには広い範囲のお子さんを対象として来てもらって、普段の中味、使い方によって、利用する範囲も、違って来る。</p> <p>対象としては限定をしないで市内の子どもを対象として考えたい。</p>
委員	<p>小学生の低学年の場合は、どの学校でも放課後児童クラブをやっている。</p> <p>家に帰って、誰も家にいない子は、ほとんど放課後児童クラブのほうで夜7時までいる。</p> <p>家に親のいる方は、1回帰りますので、児童館に来るときに親御さんに送って来てもらうとかはあると思う。</p> <p>平日の午後と言うか小学生の利用は、土曜日曜よりは少なくなると思う。</p>
委員	<p>平日午後に遊びに来るのは、本当に近くの子だけだと思う。</p> <p>学校の決まりがあり、1年生から3年生、2年生かな、までは自転車に乗ってはいけないようだ。</p> <p>3年生になって学校で交通安全の指導を受けてそこで初め、OKとなるので、ほとんど徒歩でしか行けないのだと思う。</p>
事務局	<p>笠間市というか茨城県の児童館の特徴では、東京都内のように人口密集地で歩いてゆける児童館というものは基本的には無理かと思う。</p>

	子どもだけではなく、親子の子育て支援があったり、子育ての不安解消だったり、そういう部分の施設を考えてゆかないとならないと思う。
委員	あまり密集地に造ると、今度は騒音で問題になる。 防音装置を設置しなければならないとか、地域に根差したと言うか、地域の状況に似合った事業計画みたいなものが必要と思う。
委員長	市の真ん中に建てても歩いてくる利用者が90人なんて無理だろう。 車で親が連れてくるなんて事をしないと、成り立たないということで、立地条件はあまり考えなくても良いと思う。
委員	福祉バスが子どもの児童館利用のための、将来的に出来ればと。
事務局	運営面で高齢者の方が関わるとか、その他の人が関わるとかは施設があれば可能になる。 次回の資料に今回のポプラと併せて新しい児童館のものを含めたい。 これくらいの事の面積はこれくらい必要だろう、というところのご意見をいただければと思う。
委員	都内の児童館は他の施設と併用で、単独というものは少ない。 ほとんどが保育園と一緒に、子育て支援センターも一緒にやっていた。 また、場所によっては緊急保育、お母さんが急に病気になって子どもをどうしようもないというときのために児童館でやっていた。 部屋というのは活用の仕方だと思う。 一番の心配は立地条件と騒音の問題です。
委員	建物の防犯について、防音・雑音防止と言っていたが、子ども達が集まってくると不審者が入ってきたりなど、防犯面での事も大切だと思う。
委員長	土浦は警備員とか置いてあるのか。
事務局	土浦の話では、団地の中のボランティアの方で、自衛隊のリタイヤされた方が見回りをしてくれたりして、かかわりを持っている。
委員	手洗い場を衛生面のことで多めに作っていただくのが私の希望です。 また、工作室などで、単に粘土などではなくお料理教室とか小さなものの作れるものがあればと。
委員長	一緒に料理作ったりするのですか。
委員	2月のバレンタインのチョコレート作り、イベントの中でホットケーキを焼くとか、火を通すもの。 工作の中でも使い古しのろうそくを持ち寄ってろうそく作りとか牛乳パックを使ったはがき作りとかをやっていた。 きっと火を使うようなことも出てくるのだろうなと思うので、その辺を併用できるような、テーブルと椅子を作って欲しいなと思う。
事務局	工作室とか創作活動室とかの中にそういった料理が出来るようなものですね。 そういった事も念頭において設計へ調整して行きたいと思う。
委員	プレイルームでのバトミントンはきちんとネットをきちんと張ってあるのか、それによっては支柱をたてる用意も必要。
事務局	土浦の場合は高くしたのはその為なので、器具もきちんとしていると思う。 その辺もプレイルームの作り方といいますか、高さをどうするのか、どういったことを想定していくのかと、実施設計の段階で検討をしてゆきたい。

委員	中学生くらいになるとバレーとかバスケットなども必要になってくると思う。 小さい子も大きな子と一緒に遊ぶなかで、労りとかが育っていったり、リーダーシップが育っていったりする。
委員	土浦のトイレなんかは大人用と子ども用の両方ありますか、そこにベビーベットみたいなオムツ変えの物なんかはありますか。
事務局	だいたいプレイルームなんかはどれくらいの広さが欲しいのかとか言っていたらと。 2回目でそのあたりを含めて煮詰めて行きたいと思う。
委員	土浦の利用者数が一日 90 人という事で、参考に先程出ましたけれども、昼間の部と午後と違いますか夕方の小学生以下の児童なのか各個にわかれば次回にでも、土浦の面積に対して今の利用状況を見たときに、まだまだ余裕が有る状況なのかあるいはこれがいっぱいであると状況なのか、面積を出す上で参考になるのでないかと思う。
事務局	1 日平均 90 人という数字なのですが、トータル的に見ますと、乳児と一緒に来られます保護者も含めた数で、全体的には、半数ぐらいは、乳児と来られる親子になっています。
委員	次回までにどのような年代の方に使われているのか調べたほうが良い。 小学生・中学生が主なのか幼児が多いのかその辺も調べたほうが良い。
委員	土浦は中学生の利用が結構あるのか。
事務局	中学生は大体2割ぐらいですが時期的なものもあると思う。 夏休みとか、土曜日とか。 夏休みなんかは中学生の利用が多くなっています。
委員	中学生がそれだけ使っているという事だと、プレイルームを使っているのか、勉強するため図書室使っているのか人によって違うと思う。 そういうような状況で、ただ人数だけでどうなのかなと。
委員	多分夏休みが多いのは、中学生向けの事業をやっているのだから、そのような行事・イベントをやっているのだから多いと思う。 ただ乳幼児が多いとなれば、笠間市でも多分、乳幼児親子の利用が多くなると。 そうなるこそちに重きを置いての施設を検討するのがよいのでは。
委員長	時間も経過したので残りの検討事項については次回行ないたい。 次回日程を決めて閉会